

番号	90	英語検定資格保有者率 (3級資格保有者率(中学3年生))	目標値	30.0%
			目標年度	平成19年度
			到達度	

### 指標の定義および算出式

**定義** 中学3年生の実用英語検定3級以上の保有割合

**算出式** 中学3年生3級以上保有者 / 中学3年生生徒数

### この指標はなぜ重要か

ますます国際化が進む社会において、コミュニケーションの手段としての英語を身に付けるためには、まず、基礎的・基本的事項の確実な習得が不可欠です。その意味において、中学生の英語学習は、その後一生涯を通して行う学習活動の基礎となる能力を養うことを目的として、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の言語活動を行っています。

実用英語検定は、上記の4領域の能力を測るのに適した検定であり、3級は中学3年生終了レベルとなっています。また、同時に、国内で広く認知された英語能力試験であり、コミュニケーション能力を測るうえで、県民に最もわかりやすい指標であると考えられます。

### 現状はどうなっているのか

#### 滋賀の現状

中学3年生の英語検定3級以上の保有率は、過去数年、年度を追うごとにほぼ確実に増加していましたが、平成12年度をピークに大きく下落する方向に変わりました。しかも、その下落割合は、全国平均が下降する割合よりも大きく、深刻な状況になっています。これは、英語検定が文部科学省の認定試験ではなくなり、全国と同様、本県における受検者数が減っていることも要因の一つとして考えられます。

保有率の年度推移：

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
保有率	18.4% 全国36位	20.5% 全国32位	19.9% 全国33位	18.0% 全国34位	16.8% 全国36位
全国平均	21.7%	23.5%	22.9%	21.7%	20.8%

#### 全国の状況や他の都道府県と比較してどうか

中学3年生の英語検定3級以上の保有率は、全国的な順位からみると、30位代を位置しており、全国平均値が20~23%台で推移している中で、本県は平成12年度の20.5%を最高に16~20%台で推移しており、常に3ポイント以上下回っています。しかも、英語検定が文部科学省の認定試験ではなくなったこともあり、全国と同様、本県における受検者数が減っており、ここ3年は保有率も下降傾向にあります。

### この目標を設定した理由は何か

目標値設定パターン：B（全国第1位または上位を目指すとして設定）

理由：全国第1位の東京都が、平成11年度の34.5%から平成15年度には41.9%に推移しており、以下、神奈川県（33.6%）、埼玉県（32.5%）、千葉県（30.5%）と続いています。

このため本県としては、全国のトップクラスに並ぶ30.0%を目標値に設定しました。

また、目標年度については、全英語教員を対象にした教員資質向上研修が終了し、その成果が授業改善となって現れる平成19年度と設定しています。

## 各主体が果たす役割と今後のパートナーシップのあり方

### 県が果たす役割（県の施策の概要）

中学校の英語教育において、コミュニケーション能力の基礎を一層育成できるような指導法等の改善を促したいと考えています。そのため、全英語教員を対象とした資質向上研修の中でも指導法の改善を目指した講習を行っています。

また、本県が平成16年度において作成する中学校英語科CD-ROMを活用するなどして生徒に英語学習に対する興味・関心を持たせたいと、個々の生徒の英語能力を測る方法として、英語検定があることを広く知らせ、機会を捉えてその受検をすすめるよう市町村教育委員会への指導と啓発に努めていきます。

### 県以外の行政（国、市町村）が果たす役割

これからの英語教育の振興のためには、コミュニケーション能力の基礎の育成が重要であり、英語検定の受検を奨励するとともに、受検料を補助できるよう予算化が望まれます。




### 県民・民間等が果たす役割

これからの社会がますます国際化し、英語によるコミュニケーションがこれからの時代には必要になることを、生涯学習等あらゆる機会を通じて理解を深めていただくことが大切です。

### 今後のパートナーシップのあり方

中学校の英語教育において、コミュニケーション能力の育成を重視した指導を展開していることに理解と協力をいただくよう、日々の活動の中で取り組みたいと考えています。

## 目標達成への関わりの度合い（マークは最高3つまで）

県	
県以外の行政	
県民・民間等	

## 関連する県の基本施策

基礎・基本の徹底と個性を伸ばす教育の充実（4 1 1 1）  
教育環境の整備・充実（4 1 1 6）

## 指標の数値はどのようにして把握したか

### 出典

（財）日本英語検定協会資料  
出典以外に参考となる資料等

-

担当課：教育委員会事務局学校教育課